

## プレスリリース

2009年9月1日

報道関係者各位

ニッタ株式会社  
代表取締役社長 國枝 信孝  
〒556-0022 大阪市浪速区桜川 4-4-26  
TEL:06-6563-1211 FAX:06-6563-1218  
東証・大証一部上場 証券コード:5186

---

### 「ナノインプリント\*<sup>注</sup>技術への当社製品インテリマー®(側鎖結晶性ポリマー)の応用」 第70回応用物理学会学術講演会(9月8日～11日 於:富山大学)にて発表

---

ニッタ株式会社(大阪市浪速区、代表取締役社長:國枝信孝)は兵庫県立大学(松井真二教授)とともに、半導体製品の新たな製造方法として現在研究が進められているナノインプリント技術において当社製品であるインテリマー®(側鎖結晶性ポリマー)の適用性を実証いたしました。

ナノインプリント技術におけるインテリマー®の用途は2つ。

- ① 離型処理不要モールド材
- ② 繰り返し使用可能なモールド固定材

何れもインテリマー®の特性を生かしてナノインプリント技術の更なる高スループット化が可能となります。

また、工程の簡略化、繰り返し使用が可能であることからコストダウンにも大きく貢献できます。

インテリマー®は温度変化により粘着性を発現・消失できる感温性粘着テープとして、既にセラミックコンデンサーなどの電子部品を加工する際の仮固定用途として利用されており、高い信頼性を有しています。

このたび、ニッタは従来からあるインテリマー®の温度変化による「粘着」⇔「非粘着」特性に、ナノインプリント技術に適合した離型性、高弾性率という特性を付加した新しいインテリマー®材料を開発いたしました。

新タイプのインテリマー®の詳細は、第70回応用物理学会学術講演会(9月8日～11日に富山大学で開催)にて発表いたします。

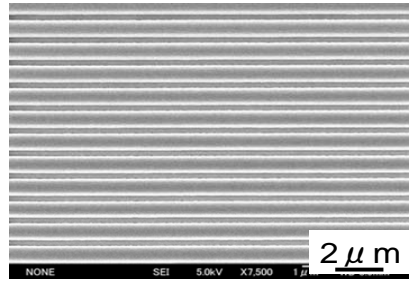


図 インテリマー上のインプリントパターン

\*注:ナノインプリントとは、半導体製品製造工程において、現状のように露光装置を使用せずに微細加工を施す技術であり、原版(モールド)に作成したパターンを製品上に塗布したレジスト(保護膜)に直接転写するもので、現状より高解像度化、低コスト化等が期待できるものである。

本件の内容に関するお問い合わせ先:

ニッタ株式会社

事業開発センター インテリマーグループ

TEL:0743-56-9512 FAX:0743-56-5038

E-Mail:intelimer-info@nitta.co.jp

[URL:http://www.nitta.co.jp/product/intelimer/top.html](http://www.nitta.co.jp/product/intelimer/top.html)

第70回応用物理学会学術講演会のご案内

<http://www.jsap.or.jp/activities/annualmeetings/index.html>

以上

ニッタ株式会社

経営企画グループ 広報担当

TEL:06-6563-1217

FAX:06-6563-1218

E-Mail:yu\_hamada@nitta.co.jp